

# なつとくのいく話



治験（ちけん）って何？

—新しいお薬ができるまで—

日時：平成19年11月15日

場所：地域医療研修センター

講師：能村涼子（治験管理室）

「金沢医療センター公開講座

「話題の病気シリーズ」

～ちょっと聴いてみませんか～



「くすり」とは???

- ◇ 症状を緩和する                      ⇨ 頭痛、腹痛のとき
- ◇ 病気を予防する                      ⇨ インフルエンザワクチン
- ◇ 不足しているものを補う        ⇨ ビタミン剤    ホルモン剤
- ◇ 病原菌を取り除く                   ⇨ 微生物に感染したとき    . . . etc

皆さんが病院で医師より処方される「お薬」は  
どのようにしてできるのでしょうか???

- ① 「病気に効果がありそうなもの」を化学合成、植物、菌などから発見します。
- ② 詳しく調べていくと「薬の候補」が選ばれます
- ③ 動物に使用し、効き目や副作用を調べます
- ④ 「治験」が開始されます。
- ⑤ 厚生労働省で承認されます。





「治験」とは？

「新しい薬」として厚生労働省より認めもらうために、実際に患者さまに使っていただき、お薬の効果と安全性を確認する試験のことです



みなさんが病院で医師から処方されている薬はすべて「治験」を経てきています。

治験に参加していただく方の権利（人権）や安全を最大限に守るため「薬事法」という法律と、厚生労働省が定めた「医薬品の臨床試験の実施基準」があります。治験はこれらのルールに従って手続きや仕組みをすすめていきます。

大切な3本柱

**倫理性の確保・科学性の確保・信頼性の確保**

日本の治験の現状は遅れている・・・

新薬を100とした場合に

先進諸外国は80～95程度の薬が既に使用 一方、日本は15～20程度の使用

治験に参加する人が少ない＝厚生労働省から承認されない＝日本で新薬が使えない

日本ではなぜ遅れているのか???

★「治験」があまり知られていない ★良いイメージがない ★医療文化の違い

多くの方に治験を知っていただくこと、ご理解いただくことがより良い「お薬」が生まれることとなります。

当院では薬剤師、看護師、検査技師が治験コーディネーターとして治験を受けられる患者さまをサポートしております。治験の説明や相談も受けております。

治験へのご理解、ご協力をお願いします。

